

ねらい

前期試験では、大学で求められる基本的な学力を試すことを念頭に、共通テストとは異なる視点で総合的な英語力を問う。具体的には、長文の内容を理解した上で問われている箇所を的確に日本語で表現・説明する力、文脈を読み取って適切な空所補充をしたり未知語を類推したりする力（大問Ⅰ・Ⅱ）、自分の考えを英語でパラグラフ・ライティングに沿って論理的に表現する力（大問Ⅲ）を試すことをねらいとしている。

全体講評（Ⅰ・Ⅱ）

「ねらい」にある「長文の内容を理解した上で問われている箇所を的確に日本語で表現・説明する力、文脈を読み取って適切な空所補充をしたり未知語を類推したりする力」を試す問題である。今年度は全体的に大問Ⅰ、大問Ⅱともしっかりと解答ができている答案が多かったように思える。しかし和訳問題に関しては、文の構造や基本的な語彙語法を正確に捉えていないものが散見された。下線部だけを切り取って和訳するのではなく、その文の前後の内容を踏まえた上で、スムーズにつながる和訳をしてもらいたいと感じた。また、本文中の難しい語句に関しては、ある程度その文の前後から意味を予測することができる。日頃英文を読む時から未知語を推測、または少々読み飛ばしながらも文全体の大まかなニュアンスを把握することを心がけてほしい。

各設問（Ⅰ・Ⅱ）

Ⅰ

問1 本文全体のテーマを問う選択問題。正答率は非常に高かった。

問2 下線部和訳問題。概ね内容は捉えてはいても、語彙語法の正確な理解ができていない答案が見られた。正答率は6～7割程度。

(ア) 英文のポイントは2つある。まず前半の expect O to do～「～することを期待する」と、後半の so + S + V 「(まさに) その通りだ」である。また、they が指すものが great things であり、do が受けるものは happen to me であることも掴まないときちんとした和訳にはならない。

(イ) この英文の文法的なポイントは、文中の主部 (people ～ future) を掴むことである。その他、According to ～「～によると」、be less likely to do ～「より～しそうにない」、make an effort to do ～「～する努力をする」なども教科書によく出てくる基本的な語句である。また、experiments を experiences の意味で取り違えている解答が多かった。普段から基本的な語彙語法を正確に身に付けてほしいと思う。

(ウ) ポイントが複数入っている英文である。語彙語法や省略語句をきちんと捉えないと、こなれた和訳は少々難しい。まず、主節の things は「物事」、work out は「(事が) 上手くいく」、the way we want は「我々が望むように」、後半の従属節の no matter how ～は「どれほど～しようとも」と訳出する。また、省略形の they will が指すものが things will

work out the way we want であることを掴めていた答案は少なかった。日頃から英文の精読では、代名詞が置き換えているものを掴みながら読んでほしいと思う。和訳問題では、解答を見直して日本語としてきちんと成立しているか、相手に伝わる日本語になっているか、を確認してほしい。

- 問3 空所補充問題。空欄前後の箇所を読み取った上で適切な語を入れることが求められる。(A) be limited to～「～に限られている」 (B) Instead (副)「それよりも、そうではなくて」 (C) 関係代名詞の主格の who 全体的に正答率は高かった。
- 問4 語句 (have come across) の意味を文脈から推測する選択問題。正答率は7割程度だった。英文は「あなたはTikTok上でこのフレーズに〇〇したことがあるかもしれない」という意味になるので、㉔の「遭遇した」が適当である。
- 問5 語句 (at fault for) の意味を文脈から推測する選択問題。正答率は7割程度だった。英文は「また、ラッキーガール・シンドロームが、悪いことが起きた時に自分たちに〇〇だと感じさせた例を共有した人たちもいる」という意味なので、㉓の「責任がある」が適当である。このパラグラフはラッキーガール・シンドロームを批判する内容であり、物事が上手くいかなかった時に自分自身を責めた人の例が直前に出ていることを読み取れば解答は容易である。
- 問6 本文中で言及される各人物に関する英文の空所に、該当する人物を選択肢より1つ選んで入れる問題。それぞれの人物に関する記述内容を素早く読み取る情報検索力(スキミング)が問われる。正答率は6～7割程度。
- 問7 抜き取った英文中の1文を入れるのに適切な箇所を問う問題。ヒントは this belief が第5段落中の believing that things always work out 「物事が常にうまくいくと信じること」を受けていること、また、faith and a feeling of security が同段落中の trust 「信頼」の言い換えになっていること、helps them fight against negativity の部分が同段落中の help believers overcome negative thinking 「(ラッキーガール・シンドロームを) 信じる人たちがマイナス思考を克服するのに役立つ」の言い換えであることを掴めば解答は容易である。正答率は8割～9割と高かった。
- 問8 第4段落第2文にある The Law of Assumption の意味を答える問題。同段落第4文に The Law of Assumption is an idea that... という、フレーズを端的に説明した記述があるので、この部分をまとめればよい。正答率は比較的高く、7～8割程度であった。
- 問9 第6段落第2文で、Oettingen という教授が Lucky Girl Syndrome には大きな問題があると指摘したことが記され、次の文で彼女の懸念の具体的な内容について説明されている。よってこの第3文の when people fail, Lucky Girl Syndrome will cause them to blame themselves の部分をまとめればよい。参照箇所を取り違えた解答はほとんどなかったが、後半部分の人称代名詞が people を指すことをわかっていないものや、cause や blame の意味を分かっていない解答は多かった。完全解答は4～5割程度、部分点を与えたものは2～3割程度であった。

問10 下線のある第10段落第1文は、「コメント欄で、何人かのユーザーはその傾向を批判した Allie に感謝の意を述べた」という意味。TikTok ユーザーたちがこのような反応を示した理由を問うているので、答えになるのは下線部より前の、Allie P の発言が紹介されている部分である。下線部より後の内容をまとめている解答が非常に多かった。第9段落第2文に、Allie P は Lucky Girl Syndrome は incorrect 「間違っている」で、harmful 「有害だ」と述べたとある。要は Lucky Girl Syndrome のネガティブな側面を指摘したということなので、その点について触れる必要がある。正答率は低く、完全正答は1割程度、部分点を与えたものは2割程度であった。

問11 自分の経験をもとに、Lucky Girl Syndrome が通用しなかった例を挙げる問題。本文全体で説明されているように、Lucky Girl Syndrome とは「信じれば夢は叶う」と思い込み、運だけを頼りにすることである。「合格するだろうと思ったテストで失敗した／テスト勉強をしなかったから」「部活で勝てると思っていた相手に負けてしまった／練習しなかったから」など、「努力を怠った結果失敗した」事例を挙げている解答は幅広く正解としたが、「身内が病気になった」などの、自分の努力ではどうしようもない事柄を挙げているものは不正解とした。完全解答は3割程度であった、部分点を与えたものは2～3割程度であった。

II

問1 から問8 までは記号問題なので、最初に全体的な解答の傾向を示し、その後、各問題の解説を加える。以下問1の解説で詳しく説明するが、このテキストは構造が非常にはっきりしている。問題文の前後に、答えに当たる文章が(概ね)明示されている。したがって、該当箇所を的確に見つけられれば解答しやすい問題が多かった。全問正解のケースも4割程度見られた。

問1 文章の概要(目的)を問う問題。第1段落の1行目 How about experimenting with an interior design trend called Japandi? がトピックセンテンスの役割を果たしている。つまり、Japandi というインテリアデザインについて、これから説明されることが予測できる(選択肢③)。また、同段落の最後の行に let's move forward with some tips があり、後続の第2段落から第9段落まで、それぞれ最初のセンテンスが Japandi スタイルの特徴を説明する項目となっている。この全体的な構造が分かると比較的内容を読み取りやすい。

問2 上記の説明のとおり、第2段落から第9段落で扱われていない項目を選べばよい。選択肢①②③に挙げられているキーワード natural, simple, cozy は問題文に繰り返し現れるコンセプトである。したがって、それらと反対の意味を持つ artificial atmosphere (選択肢④)が正解。

問3 第2段落の最後の行に、数種類の色が事例として挙げられており、全て「目に優しい色(easy-to-see colors)」だと説明されていることから、選択肢③の light brown が正解となる。

- 問4 第3段落では *natural materials* に関する説明がなされている。その特徴の一つとして、3行目に *These pieces are not only beautiful, but also eco-friendly and free from chemicals* という説明がある。not only A but also B (AだけでなくBもまた) という受験生にはお馴染みの表現だが、Bの部分に *eco-friendly and free from chemicals* という2つの要素が含まれている。接続詞 *and* で結ばれているので、この2つが似たような特徴を表しているとは推測できれば、「環境にやさしい」≒「化学物質が使われていない(選択肢⑧)」という解答を導き出すことが可能。
- 問5 第3段落の5行目以降では、なぜ自然素材が良いのかについて言及されている。6行目から7行目に、比較対象としてナイロンやポリエステルなどの化学繊維の特徴が挙げられ「比較的値段は安い^①が長期的には健康や環境に害を及ぼす」と説明されている。したがって、その反対の特徴を表す選択肢⑨が自然素材に該当する。
- 問6 第6段落の2行目 *Don't shy away from experimenting: let your creativity flow freely* が該当する箇所。例え *shy away from* の表現を知らなくても、コロンの(:)以下は前の文章を補足説明する(言い換えた)部分だと知っていれば、後半をヒントに意味を推測することができる。「創造性を自由に駆使して」ということは、「*experimenting* (実験・試してみること)を恐れずに・避けないで」と言い換えられるので、選択肢⑧が正解。
- 問7 あまり馴染みのない *decluttering* という単語の意味を答える問題だが、文脈からヒントを見つけることができる。第9段落の2行目 *Developing a less-is-more approach* (物が少ない方が豊かだという考え方を育てる)、3行目 *The fewer furniture and décor pieces you have, the more spacious the room appears* (家具や装飾品を減らすほど、より多くの空間が生まれる)等の表現から、「不必要なものを整理したり取り除いたりすること(選択肢⑨)」の意味だと推測できる。
- 問8 *Japandi* スタイルの特徴を満たす写真を選ぶ問題。全体を読んで特徴を理解することも必要だが、第10段落の最後の行で特徴をまとめてある部分もヒントとなる。正解は選択肢⑩。
- 問9 本学の英文和訳問題では、語彙・文法・構文に関する知識と理解が採点者に伝わる日本語訳で十分であり、高度な翻訳能力までは求められていない。下線部(ア)の日本語訳に関しては3つのポイントがある。1つ目は問題文の「Itが何を指すのか分かるように」という条件である。8割以上がこの条件を満たしていたが、Itは主格であるため、目的格訳「家具を」は避けて「家具は」にすること。2つ目は *be* 動詞が位置「(...に)～がある」を意味する点である。そのため、「家具は床に近い位置にある」ことが伝わる日本語訳にする必要がある。3つ目は *to* 不定詞の副詞用法(目的「～するために」)である。以上から、例えば「家具は、自然との強いつながりを生み出すために、床の近くに置くべきである。」という日本語訳になる。
- 問10 第5段落に挙げられた7項目のうち、3つを選んで答える問題である。3つ選ぶという点は概ね守れており、内容面でも正答は多かった。一方で、語彙力の不足により減点となった答案も目立った。たとえば、*positive* や *mood* を単に「ポジティブ」「ムード」と

発音をカタカナで表すだけでは、意味理解が十分に示されていない。文脈に即した日本語（「前向きな」「雰囲気」）で表す工夫が必要である。また、humidity を humanity と混同し「人間性」と訳した答案も散見された。語彙は英語力の基礎であるため、日々の学習の中で確実に定着させてほしい。なお、指示に反して7つすべてを列挙した答案もあった。設問要求を正確に満たすことが得点の前提となる。普段から解答手順の訓練も意識して取り組んでいただきたい。

問1 1 第7段落「自然光を部屋に取り入れる利点」を答える問題。後続の文章に Natural light makes you feel at home とあるので、「人を落ち着いた（くつろいだ）気分にする」とが正解。make you feel at home を「家にいるように感じる」と直訳した誤答が散見された。またそれ以上に多く見られた誤答は、2行目以降の「自然光が取り入れられない時に、暖色系の照明を使う」ことの利点を列挙したものであった。よく読めば、簡単に解答できる問題なので、もったいないミスである。

問1 2 第9段落の a less-is-more approach を説明する問題。この表現のすぐあとに can bring positivity and happiness to your home とあるので、「物が少ない方が、より前向きに、幸せに暮らすことができるという考え方」が正解となる。誤答の例として、positivity を purpose（目的）と取り違えているもの、3行目後半以降の事例を訳しているもの、などが見られた。

III

総評

昨年同様、与えられたトピックについて100語以上の英文パラグラフを書く問題を2問出題した。今年度は、トピック1では「あなたにラッキーなことが起こった日について書きなさい」という問題、トピック2では「AIは私たちの生活を豊かにするという考えに賛成か反対か。その理由も含めて書きなさい」という問題を出題した。

答案は、1. 内容（根拠や思考の深さを含む）、2. 文構成と一貫性、3. 文法と語彙、のルーブリック（評価基準）*に基づいて採点された（下記に詳細を記載）。平易な語彙を使用して誤りのない短く単純な答案よりも、多少の誤りがあってもより高度な構文や語彙を使用した答案を高く評価した。十分な英文量でよく書けていても、問いにきちんと答えていない答案は減点した。特にトピック2においては、示唆に富む内容を含む答案は高く評価した。また、少々文法的な誤りがあっても内容が伝わる場合には大きな減点はしなかった。

英文構成に関しては、各トピックを1つのパラグラフで回答することが求められていたが、受験生の多くはトピック2で個々の理由ごとにパラグラフを構成して書いていた。1パラグラフは通常5～10文から成り立ち、1つのトピックを扱う。今回は1パラグラフの中でAIに対する意見を述べるべきであり、個々の理由ごとにパラグラフを作成して書くのではない。よって、「まず」「次に」「第二に」「最後に」といった順序を示す語は1つのパラグラフ内で使用すべきであり、段落の冒頭で使用するのはではない。また、明確な導入・本論・結論から構成されたパラグラフではなく、単なる文の羅列と判断される答案は減点対象とした。

***Rubric 1: Content**

For content, you were graded on how well you described your topic, how many supporting details you provided, and how clearly and concisely you answered the topic questions. With content, we were looking for how deeply you considered the two topics and how well your paragraph demonstrated critical thinking skills.

Common Problems

1. Paragraph did not sufficiently answer the question. For Topic 1, you needed to describe a day when something lucky happened to you. Many of you provided a list of individual lucky things without describing the overall events of that day. We were hoping you would use a narrative style to explore more deeply the events of one day and why you considered the day to be lucky and/or how the events of the day exceeded your expectations. For Topic 2, you needed to either agree or disagree and show evidence for your decision. Many of you tried to answer both sides to AI (good and bad) which was not what was asked for in the question.
2. We felt that many of you did not understand the concept of “luck.” In this prompt, “**luck**” refers to a **good thing happening by chance**, not because you planned it or worked for it.

Examples of luck:

- a. Finding something valuable
 - b. Avoiding a problem by chance
 - c. Receiving an unexpected benefit
 - d. Winning something unexpectedly
3. Paragraphs were either too short and did not include enough supporting details, or they were too long and included repetitive or off-topic information. A good paragraph is a good balance between quality and quantity.
 4. Paragraphs did not use paragraph formatting. An English paragraph must be indented 5 spaces at the beginning. This shows your reader a new paragraph is starting, so for each paragraph you should only indent the first line. Many of you, however, indented multiple lines. Also, many of you did not use left- and right-hand margins and started each sentence at the left margin. This makes reading your paragraph more difficult. (See example of Topic 1 sample paragraph below.)

***Rubric 2: Structure and Coherence**

Using structure and coherence is essential when writing a traditional English paragraph because it helps the reader clearly understand the writer’s ideas and how those ideas are connected.

Common Problems

1. Paragraph did not have either a topic sentence, several supporting detail sentences, or a concluding sentence
2. Paragraph did not appropriately use transition words or pronouns.

3. Paragraph used several sentences to introduce topic instead one good topic sentence.
4. Paragraph did not follow a logical sequence of events (especially for Topic 1).
5. Paragraph repetitively used the same nouns when a pronoun referent would have been more appropriate.

***Rubric 3: Grammar and Vocabulary**

Proper grammar and appropriate vocabulary are very important when writing a good paragraph because they help the writer communicate ideas clearly and effectively.

Common Problems

1. The writer had too many grammatical errors for a student at this level. We didn't expect perfection, but errors in basic English grammar were not acceptable, such as subject/verb agreement (**They was** going to the store), incorrect verb tense (**I am studying** a lot when I was a high school student), incorrect use of parts of speech (My teacher was **a kindly person**), etc.
2. Grammar level was not considered "university-level." As a high school graduate, we expect you to have mastered higher level grammar forms in your writing. These might include correct use of modals (would, should, could, etc.), complex verb tenses (present perfect, past perfect, etc.), and the use of conjunctions to create longer more complex sentences.

Examples:

a. Simple: I study English for many years.

Preferred: I have studied English for many years.

b. Simple: I went to Tokyo a few times.

Preferred: I have been to Tokyo a few times.

c. Simple: I was tired. I finished my homework.

Preferred: Although I was tired, I finished my homework

3. Paragraphs did not include higher-level vocabulary or use of synonyms to overcome repetitive sentences.

Example

Simple: The class was very good.

Complex: The class was extremely helpful and informative.

答案作成についての解答例

最後に採点者による解答例を載せておく。自学自習や学校の授業等で今年度の問題を使用する場合は、こちらの解答例を参考にしていきたい。

Topic 1: Describe a day when something lucky happened to you.

1. Low Scoring Paragraph (Lower Level, No Indentation, Incorrect Margins)

One day something lucky happened to me. I was late for school and I was very worried.

I ran to the bus stop, but the bus was not there.

I thought I missed the bus. Then I saw the bus coming around the corner.

The bus was late that day. I got on the bus and arrived at school on time.

I felt very happy because I did not get into trouble.

It was a very lucky day for me.

2. High Scoring Paragraph

One day something very lucky happened to me when I was going to school. This was a very important day because I would take my final English test. Unfortunately, I woke up late and I was afraid I would miss my bus. I quickly got dressed and ran to the bus stop. When I arrived, the bus was not there yet. At first, I thought I had missed it, but a few minutes later the bus finally arrived. It was late because of heavy traffic. I boarded the bus and arrived at school just in time for class. Because of this delay, I was able to get to school on time and take my important test. It was a very lucky morning for me.

Topic 2: Do you agree or disagree that AI will make our lives better?

1. Low Scoring Paragraph (Lower Level)

I think AI will make our lives better. AI can help people do many things. For example, AI can help doctors find sickness faster. AI can help students learn new things on the computer. Many companies use AI to make work easier. AI can help people save time in their daily lives. Of course, people must use AI carefully. But I believe AI will help many people in the future.

2. High Scoring Paragraph

I agree that AI will make our lives better in many ways. First, AI technology is already helping people in different areas of life. For example, doctors can use AI to save lives by finding diseases more quickly and accurately. Students can also use AI tools to study and learn new information. In addition, many companies use AI to improve their work and save time. This technology can make daily tasks easier for many people. Although AI must be used responsibly, it has many benefits of which we all can take advantage. For these reasons, I believe AI will improve our lives in the future.